

NEWSLETTER

No012920

久々に大きな“RSC”(=“Reverse Structural Change”=「逆構造的変化」)が見られました。

下のトライアングル AGF の図その内部の個々の△において“歪み”を反映していません。
Y 軸の数値の大小関係(上下関係)が歪になっていますのでよくご覧ください。

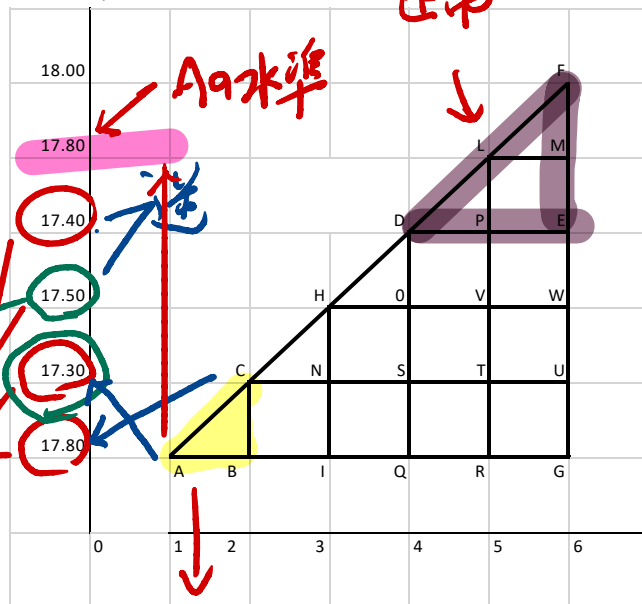
点 A、B、C、H、O、D、P、L、M、F をご覧ください。

- A(1, 17.80) F1
- B(2, 17.80)
- C(2, 17.30) F2
- H(3, 17.50) F3
- O(4, 17.50)
- D(4, 17.40) F4
- P(5, 17.40)
- L(5, 17.80) F5
- M(6, 17.80)
- F(6, 18.00) F6

個々の数値の変化はよく
構造的変化として教育的に
捉えぬに対して操作技術
も使え使用。人為、従来の
RM (= reverse move) とい
う RSC という言葉を使
い
ます。

Y 軸においては下から順番に F1/F2/F3/F4/F5/F6 の6個の数値が掲げられています。

As of 1/27



後述しますが、RSCの
フェーズ(局面)では。
“raise”が技術
的に効果的で可。
“raise”も教育的な技
術で可。